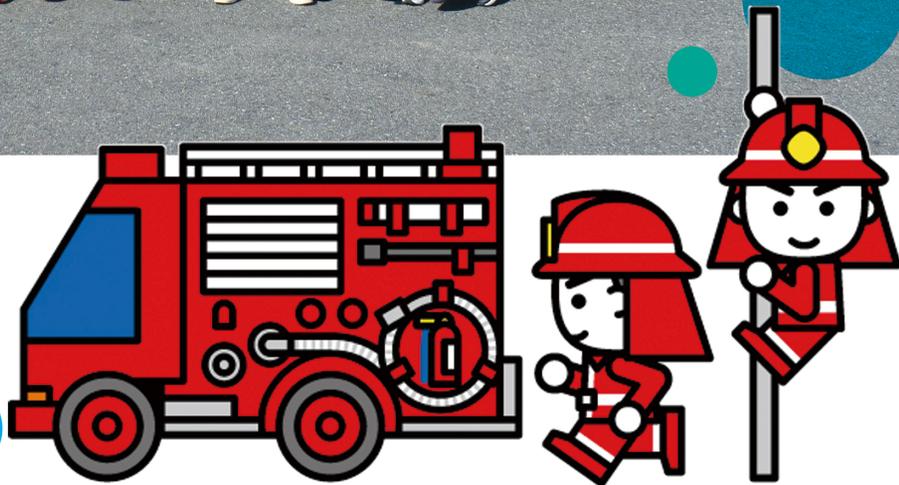




宮古地区広域  
行政組合HP



# 宮古地区 広域行政 組合広報



1 Jan  
発行2024年1月  
第19号  
Vol. 19

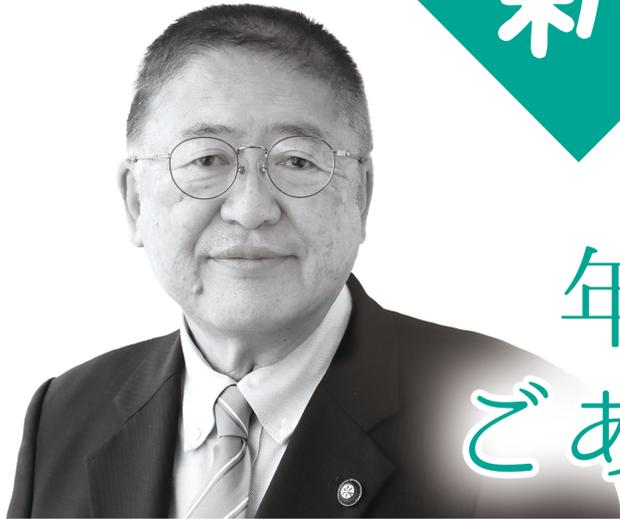
- 年頭のごあいさつ・・・・・・・・・・2
- 職員の給与などを公表します・・・・3
- 令和4年度歳入歳出決算報告・・・・4～5
- 宮古地区広域行政組合議会について・5
- 事務局施設課からのお知らせ・・・・6～8
- 消防本部からのお知らせ・・・・9～12

1973

令和六年

新春

年頭の  
ごあいさつ



宮古地区広域行政組合 管理者  
宮古市長  
**山本 正徳**



宮古地区広域行政組合議会  
議長  
**木村 誠**

令和6年の年頭にあたり、宮古地区広域行政組合を代表し、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様におかれましては、常日頃より広域行政の運営に対しまして、ご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

当組合におきましては、次期一般廃棄物最終処分場の新設整備に向けた事業を実施するとともに、構成市町村と連携し、一層のごみの減量化・資源化を図る施策に取り組んでおります。

また、11月に緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練が宮古地区で初めて開催され、北海道、東北、新潟の各道県の消防部隊と関係機関による実践的な訓練を実施し、大規模災害時の指揮能力と連携活動の強化を図りました。

令和6年は、一般廃棄物処理業務では、ごみの減量化・資源化の普及促進のために実施している4R(フオーアール)推進施策の充実強化を図り、構成市町村と連携して「資源循環型社会の形成」に向け、取り組んでまいります。

消防業務では、女性消防職員の更なる活躍推進に向けて、全ての消防署所で女性職員が勤務できるよう施設の改修を進めるとともに、各種消防車両などを更新整備し、地域防災力や消防活動体制の充実強化を図ることといたします。

これらの業務を通じて、さらなる住民サービスの向上と共に、災害時等においても、安定した事業を継続し、皆様が、安心して生活できるよう取り組んでまいります。

結びに、本年が皆様にとって素晴らしい年になりますことを心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

令和6年の新春を迎え、宮古地区広域圏の住民の皆様に、組合議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

宮古地区広域行政組合は、宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村の4市町村が共同で、ごみ・し尿処理、救急救命及び消防活動等の事務を行っております。

この地域は、人口減少及び少子高齢化が急速に進展しており、広域圏が一体となった連携施策や事業の展開など、市町村の行政需要への対応と役割は重要となっております。

このような状況下での宮古地区広域行政組合の課題は、一般廃棄物処理業務においては、ごみの減量化・資源化に向けた継続的な取り組みのほか、一般廃棄物処理施設の安定的及び効率的な運営であると考えております。また、一般廃棄物処理基本計画に基づき、新規最終処分場の整備に計画的に取り組んでいく必要があると認識しております。

消防業務においては、広域的に消防指令業務を遂行する「いわて消防指令センター」の共同運用を着実に進めるとともに、救急業務の高度化、火災予防の推進等、住民の消防行政への信頼や期待に応えるためにも、より一層の地域防災力の強化を図っていくことが重要であると考えております。

当議会としても、住民の視野に立ち、事務執行におけるチェック機能の役割を果たすとともに、地域住民の生活向上と安全で安心して皆様が暮らせるよう努めてまいります。

本年が皆様にとりまして、素晴らしい年になりますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

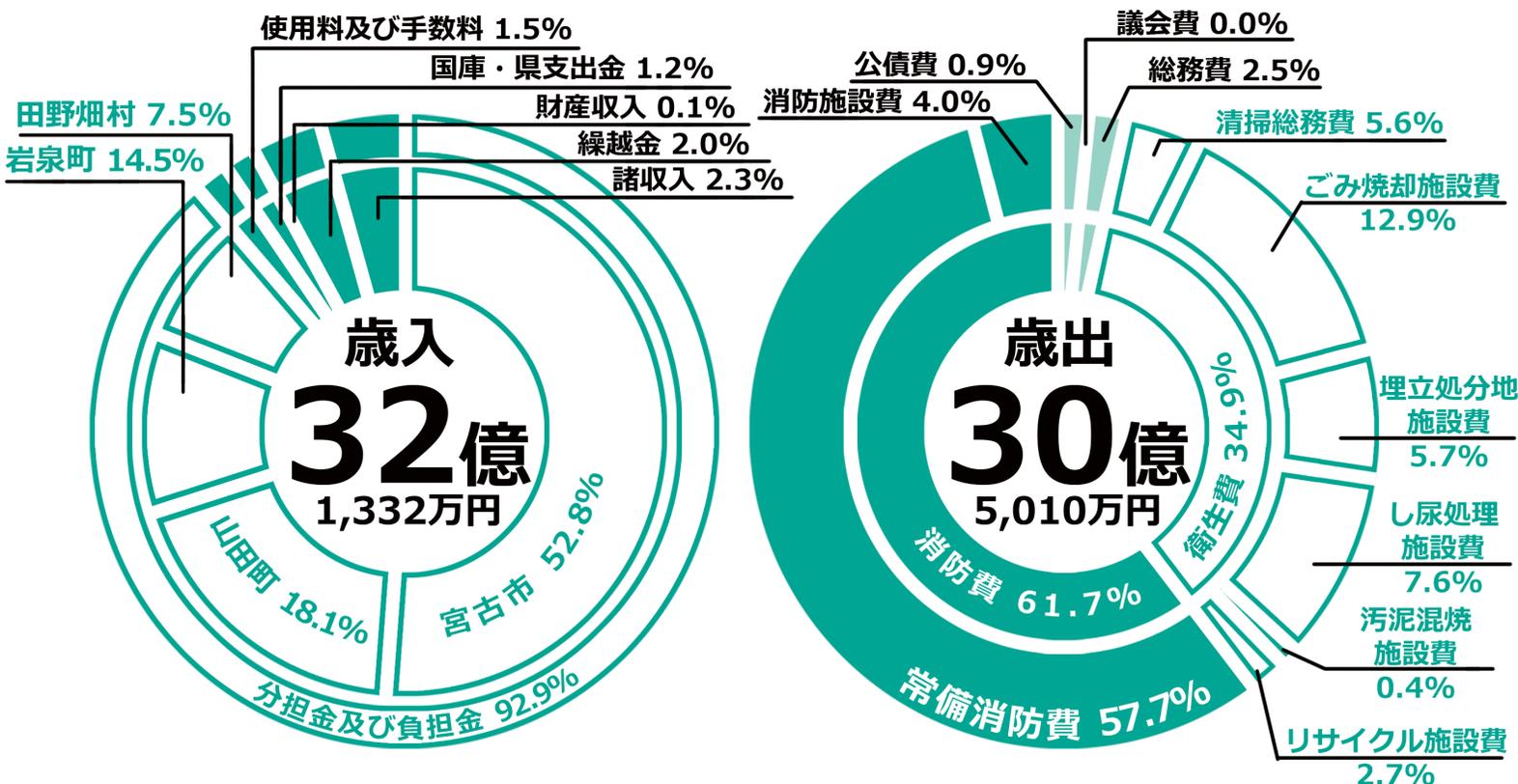


# 令和4年度 宮古地区広域行政組合決算の概要をお知らせします

令和4年度の決算額は、歳入が32億1,332万円で前年度比2億195万円(6.7%)の増額、歳出が30億5,010万円で前年度比1億292万円(3.5%)の増額でした。

## 歳入

区分	金額	構成比	説明
<b>分担金及び負担金</b>	<b>29億8,532万円</b>	92.9%	構成市町村からの負担金
宮古市	16億9,606万円	52.8%	
山田町	5億8,224万円	18.1%	
岩泉町	4億6,485万円	14.5%	
田野畑村	2億4,217万円	7.5%	
使用料及び手数料	4,819万円	1.5%	ごみ処理手数料、消防手数料など
国庫・県支出金	3,781万円	1.2%	循環型社会形成推進交付金事業費補助金など
財産収入	289万円	0.1%	車両の売却収入など
繰越金	6,419万円	2.0%	
諸収入	7,492万円	2.3%	資源物売却代金など
<b>歳入合計</b>	<b>32億1,332万円</b>		



## 歳出

区分	金額	構成比	説明
議会費	95万円	0.0%	議会運営に要した経費
総務費	7,643万円	2.5%	事務局の管理運営に要した経費
衛生費	10億6,344万円	34.9%	ごみ収集運搬委託 廃棄物処理施設管理運営に要した経費
消防費	18億8,279万円	61.7%	消防・救助業務に要した経費 施設・車両等の整備に要した経費
公債費	2,649万円	0.9%	借入金返済など
<b>歳出合計</b>	<b>30億5,010万円</b>		

## 令和4年度に実施した主な事業

### 議会事業

951,365円

宮古地区広域行政組合議会の開催に要した経費です。

### 一般管理事業

76,089,003円

職員の人件費と効果的な事務処理を図るための財務システム等の運用など事務局の管理運営に要した経費です。

### 清掃総務事業

170,801,290円

山田町、岩泉町、田野畑村のごみ収集運搬委託に要した経費です。

山田町地域	64,309,190円
岩泉町地域	83,535,100円
田野畑村地域	22,957,000円

### ごみ焼却施設事業

393,652,437円

職員の人件費と清掃センターの運転管理及び、施設の整備等に要した経費です。

### 埋立処分地施設事業

173,426,042円

職員の人件費と最終処分場の運転管理及び、ホイールローダ等の車両整備等に要した経費です。

### し尿処理施設事業

231,662,463円

職員の人件費と衛生処理センターの運転管理及び、施設の整備等に要した経費です。

### 汚泥混焼施設事業

13,260,524円

下水処理及びし尿処理に伴い発生した汚泥を焼却する施設の管理運営に要した経費です。

### リサイクル施設事業

80,515,422円

職員の人件費と資源物（缶・ビン・ペットボトル・プラ類・紙類等）を処理するリサイクル施設の運転管理及び、施設の整備等に要した経費です。

### 常備消防費

1,760,522,534円

消防職員の人件費と火災予防、警防、救急、救助業務等に要した経費です。

### 消防施設事業

122,268,124円

消防施設の整備、車両購入等に要した経費です。

屈折梯子付消防ポンプ

自動車伸縮シリンダー修繕

（宮古消防署） 1,727,000円

庁舎食堂業務用エアコン取付工事

（宮古消防署） 503,624円

高規格救急自動車購入

（山田消防署、田野畑分署、新里分署）

120,037,500円



## 宮古地区広域行政組合議会議員について

組合議員の構成に変更がありましたので、改めて宮古地区広域行政組合議会の議員について紹介します。

議員の定数は13人で構成市町村議会から選出されます。選出される議員の人数は、宮古市5人、山田町3人、岩泉町3人、田野畑村2人となっています。組合議員の任期は、各市町村議会の議員の任期によります。議員が各市町村議会の議員の資格を失ったときは、組合議員の職を失います。

議長	木村 誠	(宮古市)	議員	千葉 泰彦	(岩泉町)
副議長	三田地 久志	(岩泉町)	議員	工藤 求	(田野畑村)
議員	田中 尚	(宮古市)	議員	長門 孝則	(宮古市)
議員	畠山 和英	(岩泉町)	議員	佐藤 克典	(山田町)
議員	昆 清	(山田町)	議員	横田 龍寿	(山田町)
議員	伊藤 清	(宮古市)	議員	上村 浩司	(田野畑村)
議員	高橋 秀正	(宮古市)			



事務局施設課からのお知らせ



# 分別方法が変わります

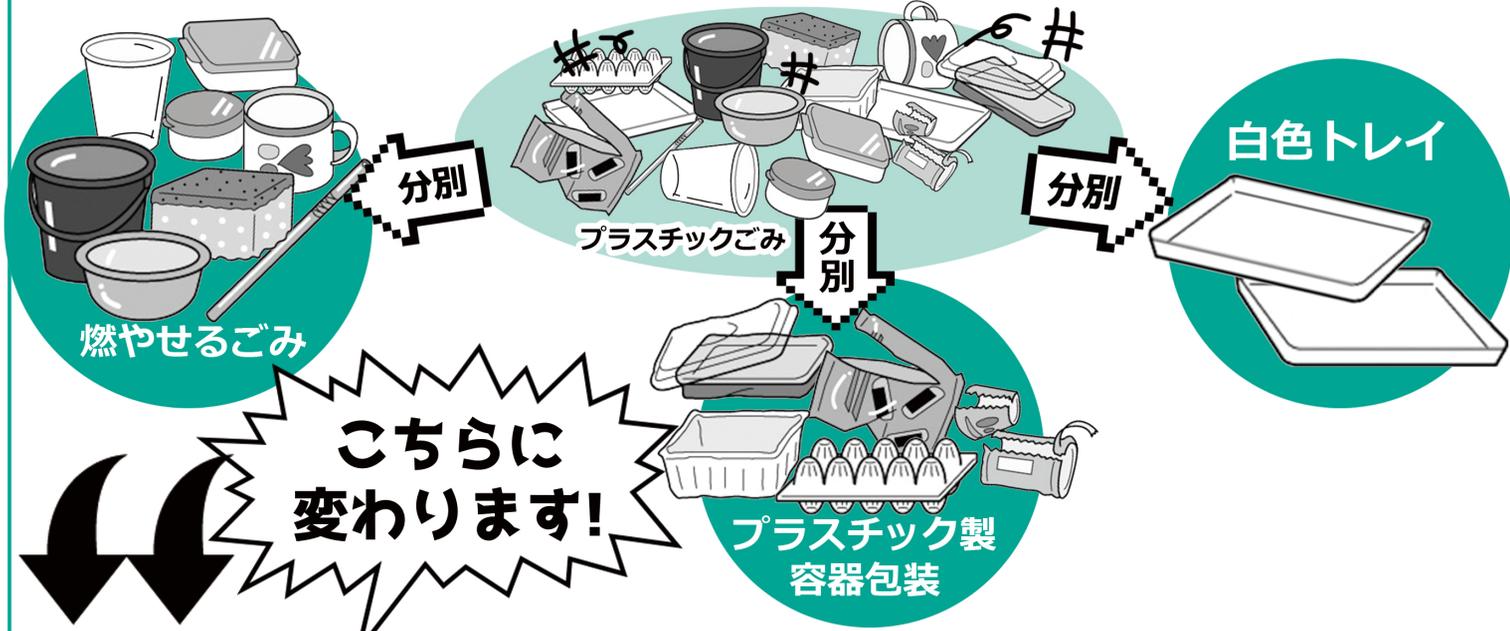


令和6年(2024年)4月1日からごみの分別方法が変更になります。

## ① プラスチック

プラスチック資源収集量の拡大を図るため、これまで「燃やせるごみ」として回収していた「製品プラスチック」を、「プラスチック製容器包装」「白色トレイ」と一緒に「プラスチック」として回収します。

### 現行の分別方法 (今まで)



## 令和6年(2024年)4月からの分別方法 (これからは)



### ? 資源物として回収する「製品プラスチック」とは?

100%プラスチックの単一素材、おおむね40cm角以内のものが対象となります。ただし、まな板など厚みのあるものは、厚さがおおむね5mm以内のものが対象となります。



(例) バケツ、洗面器、コップ、タッパー、スポンジ、ケース、ストロー、クリアファイル、定規、ハンガー、植木鉢、スプーン、フォーク、くし、歯ブラシ、おもちゃなど (いずれも単一素材に限ります。)



# ●資源物として回収できないもの（例）

小型充電式電池が内蔵されているもの、電池や電気で動くもの

「燃やせないごみ」  
又は「小型家電」で  
出してください。



水ですすいで汚れの  
落ちないもの

▶「燃やせるごみ」で  
出してください。



100%プラスチックの  
単一素材以外のもの

「燃やせるごみ」又は  
「燃やせないごみ」で  
出してください。



▽ その他、資源物として  
回収できないもの

- 内容物が残っているもの
- 汚れが付いているもの
- おおむね40cm角を超えるもの
- 厚さがおおむね5mmを超えるもの



※ライター、小型充電式電池が内蔵されているもの、電池や電気で動くものは、収集車への積み込みの際に発火して車両火災の恐れがありますので、「プラスチック」で出さないでください。  
ライターは必ず使い切り、「燃やせるごみ」で出してください。



## ●プラスチックの指定ごみ袋について

分別方法の変更に伴い、指定ごみ袋の名称が「プラスチック製容器包装」から「プラスチック」へと変更となり、「製品プラスチック」、「プラスチック製容器包装」、「白色トレイ」を1つの指定ごみ袋で出すことができます。これまでの「プラスチック製容器包装」の指定袋は、使い切るまで「プラスチック」の指定ごみ袋として使用することができます。

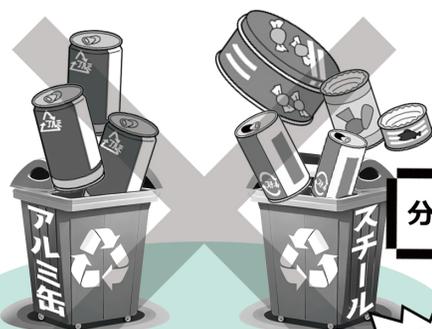
## ②缶類

### ●分別方法の変更について

分別の簡素化を図るため、アルミ缶とスチール缶と一緒に「缶類」として回収し、組合の施設で分別を行います。ごみの分別・資源化にご協力をお願いします。

令和6年(2024年)  
4月からの分別方法(これから)

現行の分別方法(今まで)



缶類

分けずに

こちらに  
変わります!



アルミ  
スチール  
いっしょに  
OK!

アルミ缶とスチール缶は  
「缶類」として受け入れ  
ますので、まとめて一緒  
に持ち込んでください。

アルミ缶とスチール  
缶をまとめて一緒に  
持ち込んでください。



エコル  
岩手県3R推進キャラクター



# し尿の汲み取り料金が変わります

し尿の汲み取り料金が令和6年(2024年)4月1日から変わります。し尿の汲み取り依頼は、お住まいの地域の収集運搬許可業者に連絡してください。

## ●し尿の汲み取り料金

180リットルまで1,480円。180リットルを超える場合、18リットル又はその端数ごとに148円加算されます。

## ●し尿の収集運搬許可業者

地域	業者名	電話番号
宮古地域	株式会社宮古衛生社	0193-62-1997
	株式会社二コニコ総合企業	0193-63-4690
	株式会社文化衛生社	0193-63-5080
宮古市	田老地域 株式会社田老衛生社	0193-87-2063
	新里地域 新里衛生社	0193-72-2378
川井地域	株式会社川井衛生	0193-76-2514

地域	業者名	電話番号
山田町	株式会社三陸衛生社	0193-82-2476
	貫洞衛生社	080-1667-7691
	株式会社マリン衛生社	0193-81-2555
岩泉町	株式会社コバヤシ	0193-82-3030
	株式会社岩泉衛生社	0194-22-2543
	中央第一総合(有)	0194-22-3434
田野畑村	株式会社田野畑清掃社	0194-34-2650



## 不法投棄、野焼きは犯罪です!



不法投棄は、廃棄物処理法により「何人も、みだりに廃棄物を捨ててはならない。」と禁止されています。違反した場合には、「5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金」に処され、または両方の罪が科されるという厳しい罰則が規定されています。

また、適法な焼却施設以外でごみを燃やすことを野焼きといい、不法投棄同様の罰則が規定されています。

悪臭や有害物質、煙などによる大気汚染を発生させる恐れがありますので、絶対にしないでください。



## 令和6年度のイベント開催について

### ○フリーマーケットの開催

リユース(再使用)活動の促進を目的とし、組合の敷地を開放してフリーマーケットを開催しています。令和6年度の開催については、事務局ホームページや各市町村広報でご案内します。

### ○再生品展示会

回収された不用品(タンス・テーブル等)の中から再利用できるものを展示し、希望者へ無償でお譲りします。(希望者が重複した場合は抽選となります。)

再生品の回収状況によるため、開催日は不定期となりますが、決まり次第、事務局ホームページや各市町村広報でご案内します。

### ○ポスターコンクール

小学校3年生から6年生を対象に、4R・環境保護推進ポスターコンクールを開催しています。作品募集の詳細は、事務局ホームページへ掲載のうえ、各小学校を通じてご案内します。



# 119番は消防車や救急車が 必要な時に使う緊急通報電話です!

宮古消防本部指令センターが2022年に受信した119番通報は、「5,404件」で、約11%にあたる「626件」が緊急を要しない救急要請や問い合わせ、間違いなどの通報でした。このような通報は、年々増加傾向にあり、災害時や一刻を争う事態への対応に支障を及ぼすおそれがありますので、119番は、緊急通報として適正に利用しましょう。

## ● 緊急性がない通報の内訳

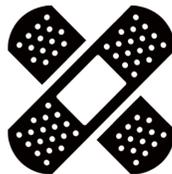
誤報 1.3% 8件  
いたずら 0.3% 2件

その他 70.1% 439件

間違い 28% 177件

### こんな理由では呼ばないで!

- どの病院に行けばいいのかわからないから
- 救急車は無料だから
- 優先的に診てもらえると思って
- 夜間・休日の診療時間外だったから
- 交通手段がないから
- 行きたい病院があるから
- さみしいから
- 一人で不安だから



### よくある「間違い」「問い合わせ」通報

- 自動車を運転中に、ポケットに入れていたスマートフォンの電源ボタンが連続で押され、緊急通報機能が作動した。
- 小さい子供が親のスマートフォンで遊んでいた際、緊急通報ボタンを押した。
- スマートフォンを誤って落としてしまい自動通報された。(最新機種の一部には、自動通報機能が搭載されているものがあります。ご確認ください。)
- 消防車がサイレンを鳴らして走っていたけど、何かあったんですか?

## 指令センターから みなさまへのお願い

## もしも、意図しない 通報をしてしまった時は



- もしも、意図しない通報をしてしまった時は、電話を切らず、指令員に「間違いです、救急車、消防車は必要ありません」とお伝えください。通報者から内容を確認できなかった場合、位置情報を基に、電話発信場所付近に消防隊を向かわせ検索することになります。
- 通報時に、「サイレンは鳴らさないで来てほしい」とおっしゃる方がいますが、消防車や救急車は、道路交通法の緊急自動車です。サイレン吹鳴が義務付けられていますので、ご理解をお願いします。



## 救急車を呼ぶかどうか、 迷ったことはありませんか?



全国版救急受診ガイド **Q助**

急な病気やけがをしたとき、その時の症状を画面上で選択していくと、「今すぐ救急車を呼びましょう」「早めに医療機関を受診しましょう」などの必要な対応が表示される救急受診アプリ「Q助」(きゅーすけ)というものがあります。緊急度を素早く判断し、救急車を呼ぶ目安となりますので、ぜひ、ご活用ください。



◀ 総務省消防庁「Q助」案内サイト

[https://www.fdma.go.jp/neute/topics/filedlist9\\_6/kyukyu\\_app.html](https://www.fdma.go.jp/neute/topics/filedlist9_6/kyukyu_app.html)

緊急消防援助隊  
北海道東北ブロック合同訓練

緊急消防援助隊  
北海道東北ブロック合同訓練  
活動報告



【都市型災害救助救出訓練】



【中山間部土砂災害救助救出訓練】



【火災対応（遠距離送水）訓練】



【津波複合災害救助救出訓練（田老地区）】



【津波複合災害救助救出訓練（田老地区夜間）】



【津波複合災害救助救出訓練（山田町）】

# 北海道、東北6県、新潟県から駆け付けた 「緊急消防援助隊」

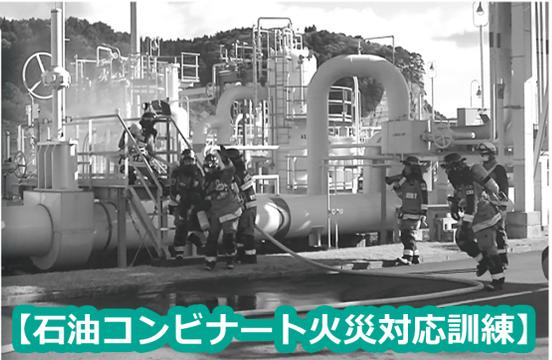
令和5年11月18日(土)～19日(日)、緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練が宮古地区(宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村)及び久慈市で開催され、消防や警察、自衛隊、その他多くの関係機関延1,228名、220隊、24機関が参加し、大規模災害や特殊災害発生時の対応訓練が実践され、連携態勢を確認しました。



【道路啓開・障害物除去訓練】



【土砂災害救助救出訓練】



【石油コンビナート火災対応訓練】



【座屈建物救助救出訓練】



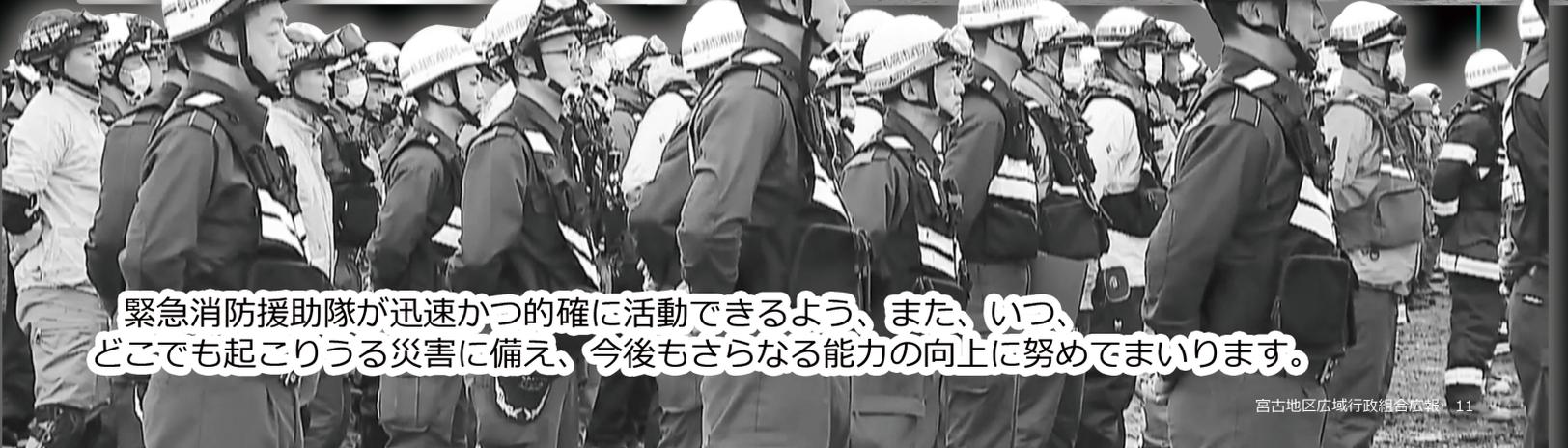
【毒・劇物災害対応訓練】



【多重衝突事故救助救出訓練】



【津波漂着・漂流者救助救出訓練】



緊急消防援助隊が迅速かつ的確に活動できるよう、また、いつ、どこでも起こりうる災害に備え、今後もさらなる能力の向上に努めてまいります。

# 新たに6人の消防士が加わりました!



桐田 教男  
副管理者

田鎖 海璃  
消防士

館下 愛美  
消防士

佐々木 羽菜  
消防士

山本 正徳  
管理者

野田 聖人  
消防士

田畑 優  
消防士

三船 桂志朗  
消防士

## 新人消防士の抱負

山田消防署 田畑 優 消防士

私は小学4年生の時に東日本大震災を経験しました。その災害現場の最前線で人命救助、地域の為に活動している「消防」に憧れ、消防士を志しました。

私は地域一人ひとりに寄り添い、「災害に強いまち」を目指しこれから日々業務に取り組んでいきたいです。

当組合では、令和5年4月、新たに6人の消防職員を採用しました。6人は岩手県消防学校で、半年間の教育訓練課程を修了し、10月から宮古、山田、岩泉の各消防署に配属されました。これから住民の皆さまの安心、安全のために努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

## 第51回

# 全国消防救助大会



宮古消防署田老分署 吉田 凌 消防士

令和5年8月25日(金)北海道札幌市で開催された「第51回全国消防救助技術大会」ロープブリッジ渡過部門に、宮古消防署田老分署の吉田 凌 消防士が出場しました。

吉田消防士は鍛え抜かれた強靱な肉体を駆使し、大会で実力を遺憾なく発揮して、競技タイム19.4秒、全国入賞という好成績を収めました。

### 【吉田消防士コメント】

多くの方々のご指導、ご支援のおかげで、全国大会入賞を果たすことができました。この経験を活かし、住民の皆様々に安心感を与えられる救助隊員となれるよう、引き続き訓練に励みます。



### ロープブリッジ渡過とは?

水平に張った20mのロープを、行きはセーラー渡り、帰りはモンキー渡りで往復する訓練です。